

さぽせんニューズレター

2011 年夏号
Vol.30



みんなの目線の先には
幸せのことばたち♡



維新カフェ5 茅ヶ崎幸せシフト記念日

市民活動



3・11の大震災を経験してこれから持続可能で幸せな暮らしをどのようにつくっていけるでしょうか。

5/22(日)国際生物多様性デーにドキュメンタリー映画「幸せの経済学」が全国 100ヶ所で、同時自主上映されました。茅ヶ崎では新しい風を吹き込むイベント・維新カフェとして上映会を行いました。

映画の配給・宣伝は、第4回維新カフェのゲスト関根健次さんが代表取締役を務めるユナイテッドピープル株式会社です。同社は世界各地のNGO・NPOに手軽に募金ができるWEBサイト「イーココロ！」(<http://ekokoro.jp/>)を運営しています。

これからのライフスタイルのキーワードはローカリゼーション。グローバルゼーションと対局にあるこの言葉を軸に、真の豊かさと本当の幸せを問いかけました。

「3.11以後の暮らし方、社会を選択していくためのヒント・答えを示してくれる映画です」という関根さんのメッセージ映像で幕あけし、上映後の交流会ではグループに分かれて、感想や日頃の活動について語り合いました。

また、「あなたにとっての幸せとは？」というメッセージボードに色とりどりのペンで「幸せ」を出し合いました。

今回印象的だったことは、一人ひとりに幸せのカタチがあること。それぞれの違いを大切にして伝え合いながら誰かひとりの幸せではなく、みんなの幸せが実現できるように暮らしや社会が幸せシフトしていくといいなと感じました。そして 5・22 の出会いで生まれたつながりを通じて、茅ヶ崎を変えていこう、社会を変えていこう、本当の幸せを目指して生き方や価値観を変えていこうという、熱い志と強い決意を持った人・活動が生まれ、広がっていくことを願っています。

最後に、開催に当たりタグリ米を提供してくださった三翠会さん、ハーブティーの提供と会場設営にご協力いただいたRIVENDELさんにも感謝申し上げます。みなさん、ありがとうございました。

*参加者全員の映画の感想・メッセージボードは、サポセンHPでご覧いただくことができます。ぜひチェックしてみてください！また、アンケートにて「交流会の時間がもっとほしかった」という声をたくさんいただきました。

次回は、さらに参加者同士の交流に重点を置いた企画を検討中です。お楽しみに！

柏市の先進事例から協働のエッセンスを学ぶ

日時:6月12日(日) 13:30～16:30 場所:サポートセンター 参加人数:22名

新しい公共が注目されるなか、多様な担い手による地域課題の解決が「協働」という手法で模索されています。また、よりよい協働を生み出すために、NPOと行政との協議を行うタイミングや方法、内容についてもさまざまな工夫がなされています。

このたび、柏市より沖本由季さん(柏市協働推進課主幹/統括リーダー)と大浜あつ子さん(NPO法人スマイルクラブ理事長)にお越しいただき、柏市協働事業提案制度の4つの特徴①安易な協働事業を生まない②対話により事業をつくる③NPOを下請けにしない④翌年度へつなげるシステムや、事業内容を約半年かけてブラッシュアップする調整協議や仲介・助言を行う協働コーディネーターの役割についてお話いただきました。また「小学校体育の授業サポート事業」の実施までの経緯なども紹介。「協働は質の高い市民サービスの提供が目標であり、数多くの事業を行うことが目的ではない」というお話をヒントに、茅ヶ崎市の協働の支援を行っていきたいと思います。当日資料は配布しています。

また、協働推進事業の応募に関するご相談などは、いつでもお受けしています。



沖本由季さん



大浜あつ子さん

協働に向けた意見交換会 NPO・事業者×行政＝市民の幸せ

NPOや事業者、営利を目的としない法人等が、市職員と共に協働の芽を育て、協働事業実施への可能性を探る話し合いの場「NPO等と行政の協働に向けた意見交換会」を開催します。

「これって協働になるかも？」というアイデアをお持ちの団体は、参加申込書をご記入の上、7月26日(火)までにサポートセンターにお申し込みください。また、事業提案を検討中の団体は、ご都合のよい日に必ずご参加ください。

なお、詳細につきましては、平成23年度協働推進事業応募要領をご覧ください。

- ▶ 第1回 8月12日(金) 10時～12時 市役所分庁舎5階A・B会議室
- ▶ 第2回 8月18日(木) 18時～20時 市役所分庁舎6階コミュニティホール
- ▶ 第3回 8月23日(火) 14時～16時 市民活動サポートセンター
- ▶ 第4回 8月27日(土) 10時～12時 市役所分庁舎5階A・B会議室



中学生が太陽光のチカラを実感！

▶ 日時:6月22日(水) 9:20～11:40 ▶ 場所:サポートセンター ▶ 参加人数:54名

萩園中学校の1年生が環境体験学習で、さぼせんを訪れるのは昨年に引き続き2回目です。すでに真夏を思わせるような陽気の中、パープルジャージを着た生徒たちは「おはようございます!!」と元気よくやってきました。

当日は太陽光の体験にうってつけの素晴らしい陽射しです。ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)の上野さんから、さぼせんの「れんこちゃん1号」に、こどもセンターの「れんこちゃん2号」という、市民立発電所の妹ができて順調にその機能を果たしてくれていることや、キャンピースイッチの効果、みどりのカーテンなど日頃の生活の中で自分たちにもできるエコについて学びました。

屋外では、いくつかのソーラークッキングの器具で焼かれた、ポップコーンやご飯を味見。試食した生徒たちからは「アツイ」「うまい」「いい匂い！」などの声が聞かれました。

また、太陽光で動くおもちゃは自分で動かしてみることもできるので、真剣そのものでした。

NPOの方々が持っている専門性から学ぶ体験学習の相談・仲介は通年でお受けしています。



太陽光パネルの実物を見てちょっと感動！



ソーラークッキングでラスクが・・・



僕も乗りたいよ！ソーラーカー



サポートセンターには情報がたくさん

2011 年ユースボランティア夏の体験！

- ▶ 体験期間: 7月23日(土)～9月15日(木)
- ▶ 参加人数: 100名(中学生～大学生くらいまでの人)
- ▶ 場所: 市内19の市民団体・施設

オリエンテーション: ①7月21日(木) 14時～ 社協(さがみ農協ビル5階)
(どちらかに参加) ②7月22日(金) 18時～ サポートセンター

① ②とも都合が悪い人は個別にオリエンテーションを受けられます。

24日(日)10時 サポートセンター、25日(月)13時30分 社協、27日(水)18時30分 サポートセンター
ボランティア体験先は里山保全、海岸清掃、紙芝居でクイズを出したり、小さい子や学童・高齢者・障がいのある方とふれあったり、国際支援のリサイクルショップなど多岐にわたります。

今年はサポートセンターも受け入れ先になりました。センタースタッフの手伝いって、どんなことするのかな？
お楽しみに・・・ 詳しくは「さぼせんHP」<http://sapocen.net>をご覧ください！



めざせ災害エコレンジャー2011 みんな待ってるよ♡

災害発生時には、知らない者同士でも助け合い協力しあうことが大切です！
つきそいの大人の方は、グループ全体のサポート・子どもたちの見守りに協力していただきます。

- ▶ 日時: 7月31日(日) 8月20日(土) 9:30～14:30 ▶ 場所: 茅ヶ崎中央公園
(雨天の場合は、プログラムを変更して市民文化会館で行います)

- ▶ 定員: 各日75名(1・2年生は親子参加、応募多数の場合は抽選)

市内小学生が対象！ 今年もエコと防災の知恵を楽しく学び・体験しよう!!

参加者全員でソーラークッカー「ききょう」を作り、トウモロコシを入れて「ソーラークッキング」を体験します。

そのあとグループに分かれて、「ソーラーのおもちゃ」や「廃食油キャンドル」「火おこし」「ロープワーク」「三角巾の講習」などを体験します。 お申し込みはHPから・・・<http://sapocen.net>



★昨年のエコレンジャーの様子★



ソーラークッカー
ききょうを作成中



初めてのマッチ体験に
ドキドキ！



ロープワークは
覚えたら使えるね



8月発行予定！「ちがさき市民活動団体ガイドブック 2011」

- ♣ ガイドブックに、団体の活動紹介・会員の募集・イベント情報などの情報発信ができます。
- ♣ さぼせんホームページの「ガイドブックWEB版」で公開します。 ♣ 市の広報紙に紹介。
- ♣ ハスキーズギャラリーでは、使用料の団体負担が半額になる(C-リング充当)などの特典があります。

共感と信頼を得るために情報発信が大切です。このガイドブックが団体間交流の促進となり、また多くの皆様も市民活動に関心を持ち、地域デビューするきっかけの一助となればうれしく思います。



第3回かながわNPO映像祭にむけて ～NPOが映像でつながる～

様々な課題に取り組むNPOの熱い情熱を伝え、興味を持ってもらうためには、映像によって団体の活動を分かり易く広報していくことも大切です。

秋にデジカメ写真から作る、団体のコマーシャル映像制作講座(全2回)を開催する予定です。
静止画(30枚程度)を使って、約90秒のPR映像を作ります。制作ポイントを学んだ後、編集作業を行います。

来年3月に開催予定の第3回かながわNPO映像祭にも応募できます。詳細は追ってお知らせします。

お楽しみに！ (協力: NPO法人湘南市民メディアネットワーク)



「今、私たちにできること」

被災地に手作りの表札を

6月20日、茅ヶ崎市在住の三堀順子さん(日本デコラティブペインティング協会(JDPA)会長)から南三陸町夢大使の千葉幸記さん(ふおと神奈川社長)に、被災地の仮設住宅の玄関に飾る手作りの表札が贈呈されました。

千葉さんは復興チャリティーイベントや被災地の写真展示など精力的な支援活動をされておられます。この日手渡された50枚の表札は、6月26日に南三陸町で行なわれた福興市(“全国ぼうさい朝市ネットワーク”の元気な商店街が応援に駆け付け、全国各地の特産品が並ぶ町の復興を目指した市場。売り上げの一部は活動支援金として活用される)の開催に合わせて、千葉さんが直接お届けくださいました。

「被災地では次々と仮設住宅が建ち、入居が始まっています。私たちペインターにできることは何かと考えて、会員に呼びかけプレートに絵を描いています。ぜひ、被災地に届けてほしい」という三堀さんの想いと「南三陸と茅ヶ崎をつなげたい」という千葉さんの想いから実現したものです。一枚一枚丁寧に心を込めて描かれた表札は、復興に向けた希望の光となってくれることでしょう。なお、このステキな表札は、遠野市被災地支援ネットワーク「遠野まごころネット」に100枚、岩沼市に200枚、気仙沼市に200枚、計550枚が届けられる予定です。



表札を手渡す三堀さん



JDPA協会の全国大会にて



「エル・ファロを救う会」

3月18日の夜、いわき市から障がいのある人たちと職員さんが、最後のガソリンを使って茅ヶ崎にたどりつきました。被災されたのは社会福祉法人エルファロのグループホームの入居者7人とその職員4人。

20日には、障がいのある人の「ふつうの暮らし」を実現しようと活動している人を中心に「エルファロを救う会」が発足。サポートセンターは、暖房器具やカセットコンロ、物干し竿、お米など温かい気持ちがいっぱいつまった支援物資の仲介を行いました。避難生活を続けるための募金活動の情報も発信されました。

しかし、エルファロに様々な事情が発生し、4月2日いわきに戻ることにになりました。4月26日、サポートセンターにて救う会による経過報告会が行われ継続的に支援することが報告されました。これからも続く長い復興への道のりを応援したいと思います。なお4月25日現在の募金額は1,579,833円でした。詳しくはエルファロを救う会のブログをご覧ください。<http://blog.goo.ne.jp/elfaro>



エル・ファロの情報紙

さぽせんニューズレター2011年夏号(2011年6月30日発行)通算30号

編集・発行 特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき 発行責任者 益永律子

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

TEL/FAX: 0467-88-7546

Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp

ホームページ: <http://sapocen.net/>